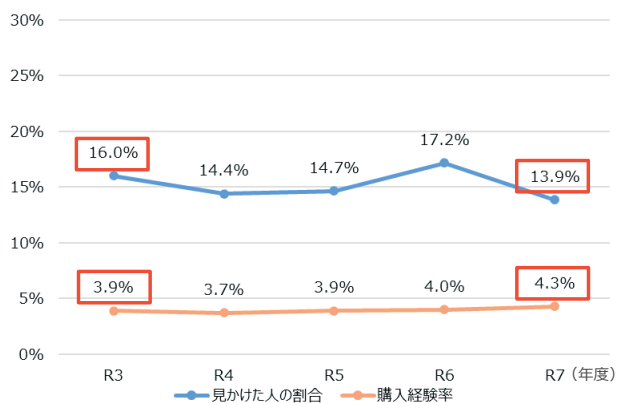


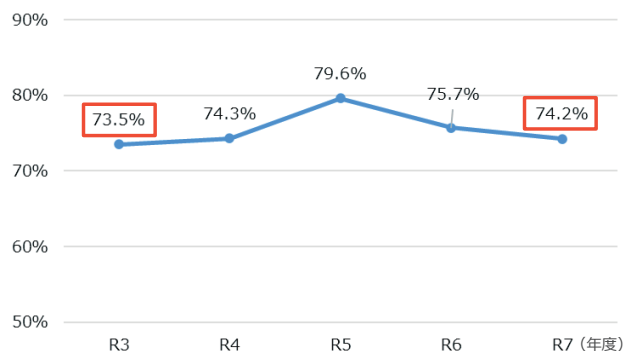
福島県産なめこを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産なめこを店頭で見かけた人の割合は2.1%下降、購入経験率は0.4%上昇した。福島県産なめこの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は0.7%上昇した。

福島県産なめこを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産なめこを高く評価している人の割合



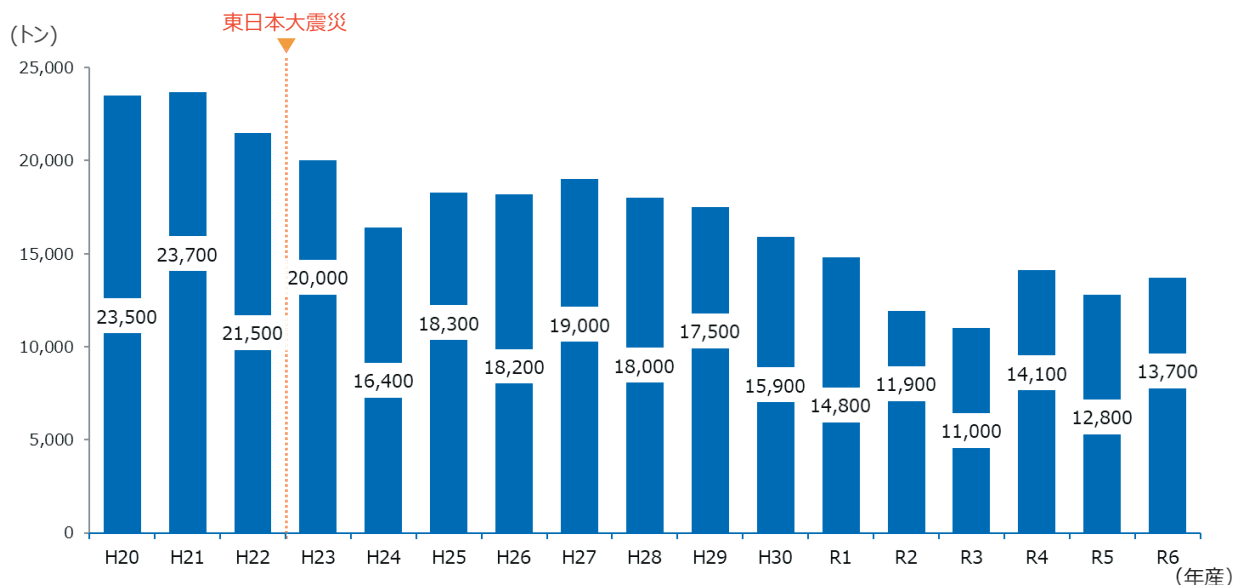
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,217、R4:3,274、R5:2,689、R6:2,448、R7:2,719。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産なめこを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:434、R4:206、R5:157、R6:161、R7:171。

福島県産日本梨の出荷量の推移

福島県産日本梨の出荷量は、震災後に概ね減少傾向で推移していたが、令和4年以降やや回復し、令和6年産は13,700トンとなっている。

福島県産日本梨の出荷量の推移

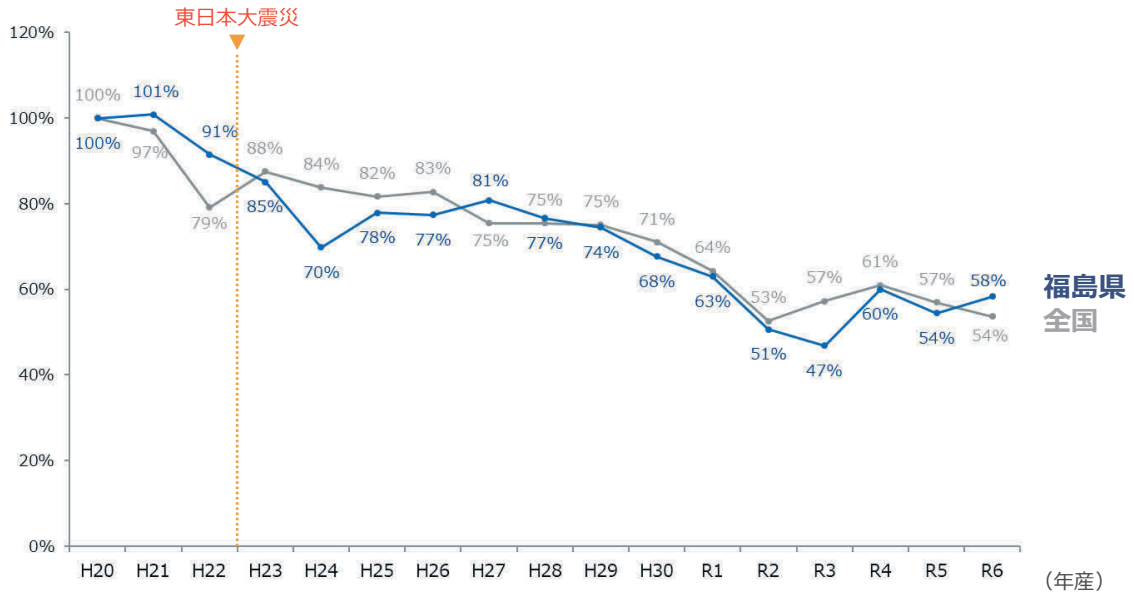


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移

全国の日本梨の出荷量は、平成24年産以降減少傾向にある。福島県産日本梨も震災前から減少しているが、令和4年以降はやや回復傾向にあり、令和6年産の出荷量は平成20年産の約58%と、全国水準を上回った。

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

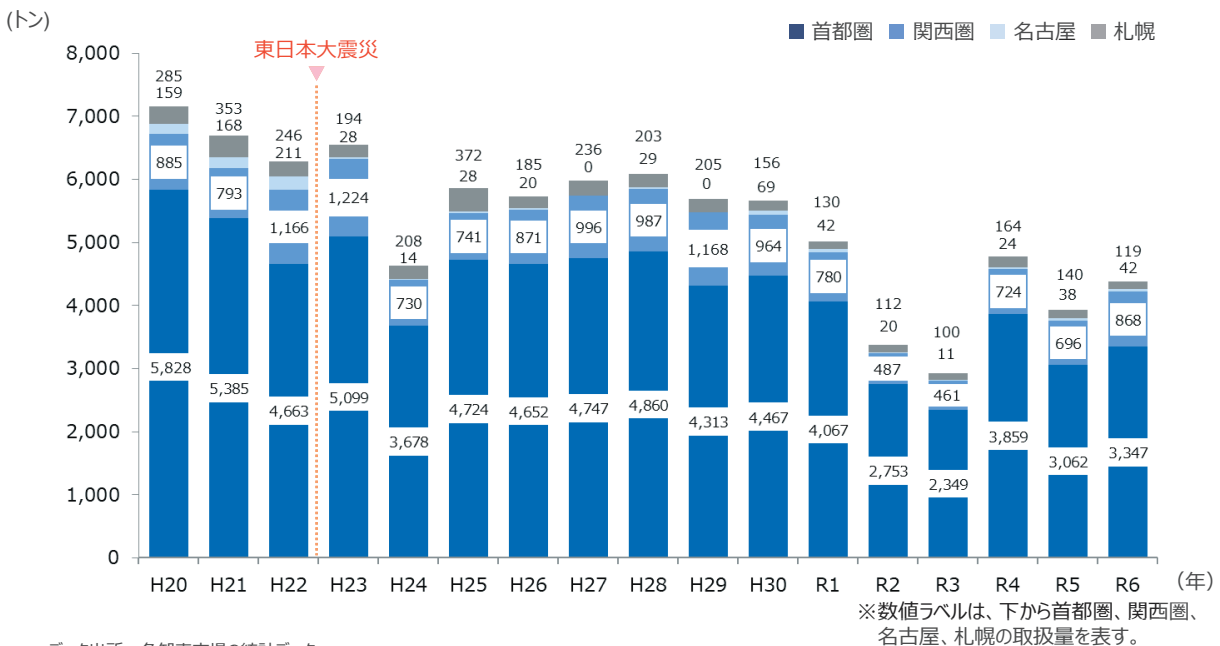


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産梨の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産梨の取扱量は、震災前から継続して首都圏での取扱いが最も多い。また、震災後の取扱量は、いずれの市場においても減少傾向で推移している。令和2年と令和3年は、気象条件や病害の影響もあり少なくなっている。

各市場における福島県産梨の取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、福島県産梨は1月・3月にはシェア1位、9月～10月にシェアが2位であった。横浜市中央卸売市場においては福島県産梨は10月にシェアが1位、8月・9月・11月にシェアが2位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	87%	-	84%	-	-	0%	0%	12%	21%	21%	6%	3%	2,971
栃木	0%	-	0%	-	-	4%	2%	26%	34%	41%	24%	35%	5,518
茨城	11%	-	0%	-	-	0%	13%	24%	14%	4%	3%	2%	3,000
千葉	2%	-	0%	-	-	0%	11%	22%	15%	3%	4%	2%	2,873
新潟	0%	-	0%	-	-	0%	0%	3%	4%	12%	46%	11%	1,003
長野	0%	-	0%	-	-	0%	0%	2%	6%	9%	5%	0%	870
総量	16	0	2	0	0	7	562	7,219	7,511	2,466	261	44	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	-	-	0%	18%	20%	24%	13%	0%	376
茨城	-	-	-	-	-	-	51%	47%	34%	12%	0%	0%	717
栃木	-	-	-	-	-	-	0%	13%	15%	16%	7%	10%	277
秋田	-	-	-	-	-	-	0%	1%	11%	24%	0%	0%	171
新潟	-	-	-	-	-	-	0%	6%	6%	20%	70%	0%	168
千葉	-	-	-	-	-	-	0%	12%	8%	1%	0%	0%	155
総量	0	0	0	0	0	0	69	753	857	275	20	6	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 565

各市場における梨の産地リレー(令和6年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場においては、福島県産梨は1月・9月にシェア1位、10月にシェア2位、8月にシェア3位であった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産梨の取扱いは僅かであった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	98%	0%	-	-	-	0%	0%	9%	30%	24%	3%	0%	864
徳島	0%	0%	-	-	-	0%	28%	40%	1%	0%	0%	0%	901
鳥取	2%	0%	-	-	-	0%	0%	16%	18%	0%	5%	15%	675
長野	0%	0%	-	-	-	0%	0%	5%	19%	24%	0%	0%	562
新潟	0%	0%	-	-	-	0%	0%	7%	10%	26%	86%	0%	454
大分	0%	100%	-	-	-	0%	8%	7%	4%	6%	0%	85%	275
総量	8	10	0	0	0	1	214	2,081	1,925	388	16	7	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	-	0%	-	-	-	0%	1%	1%	0%	1%	0%	4
鳥取	100%	-	0%	-	-	-	2%	25%	24%	16%	38%	52%	206
徳島	0%	-	0%	-	-	-	74%	45%	1%	0%	0%	0%	199
富山	0%	-	0%	-	-	-	0%	14%	33%	33%	0%	0%	187
長野	0%	-	38%	-	-	-	0%	6%	21%	17%	0%	0%	108
京都	0%	-	0%	-	-	-	0%	4%	12%	34%	25%	0%	85
総量	2	0	10	0	0	0	16	406	314	73	30	12	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 566

各市場における梨の産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産梨の取扱いは、名古屋市中央卸売市場では、取扱量は少ないものの12月にシェア1位であった。札幌市中央卸売市場では、福島県産は8月～10月に主力産地の一つとなっており、また、取扱量は少ないものの1月・12月にシェア1位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

産地	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
名古屋市中央卸売市場													
福島	0%	-	-	-	-	-	0%	1%	1%	0%	2%	58%	42
長野	0%	-	-	-	-	-	0%	47%	56%	41%	32%	3%	1,707
新潟	0%	-	-	-	-	-	0%	12%	10%	24%	32%	0%	457
富山	0%	-	-	-	-	-	0%	13%	13%	9%	3%	0%	408
佐賀	0%	-	-	-	-	-	90%	11%	0%	0%	0%	0%	324
愛知	0%	-	-	-	-	-	9%	9%	6%	2%	13%	18%	258
総量	3	0	0	0	0	0	203	1,334	1,529	500	77	10	
札幌市中央卸売市場													
福島	100%	-	-	-	-	-	0%	10%	14%	6%	0%	96%	119
新潟	0%	-	-	-	-	-	0%	41%	47%	78%	96%	0%	513
茨城	0%	-	-	-	-	-	24%	29%	17%	3%	0%	0%	159
長野	0%	-	-	-	-	-	0%	5%	8%	4%	0%	0%	56
栃木	0%	-	-	-	-	-	0%	5%	7%	3%	0%	0%	48
千葉	0%	-	-	-	-	-	4%	4%	3%	1%	0%	0%	24
総量	10	0	0	0	0	0	6	278	413	209	43	10	

データ出所：各卸売市場の統計データ

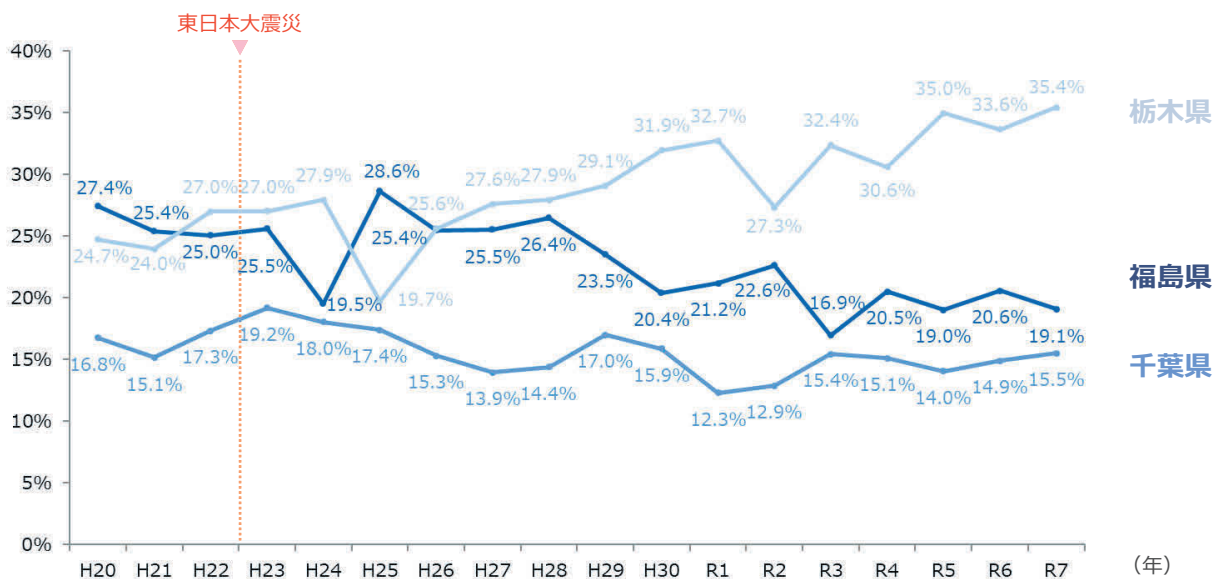
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はト。

567

東京都中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産梨のシェアは、平成25年度に震災前を上回るシェアとなったものの、その後は概ね縮小傾向にあり、栃木県産とのシェアが拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)



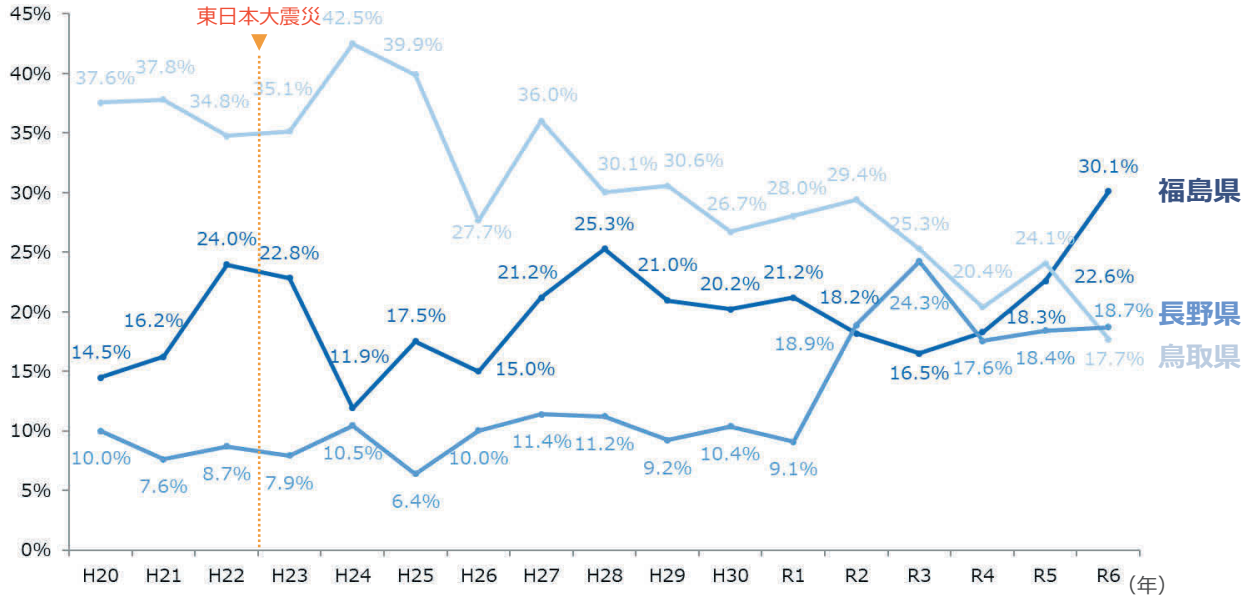
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

568

大阪市中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

大阪市中央卸売市場における9月の福島県産梨のシェアは、平成24年に大きく縮小し、その後回復傾向にあったものの、平成28年をピークに再び縮小した。一方、令和3年以降は再び回復し、令和6年は長野県産・鳥取県産を上回りシェア1位であった。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

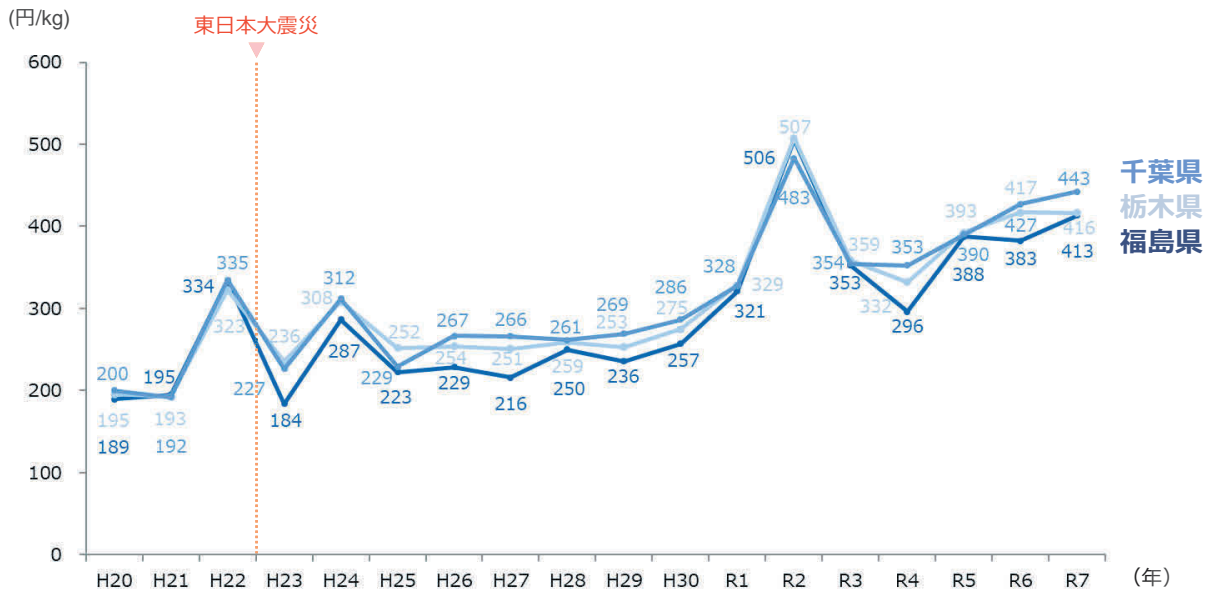


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

東京都中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産梨の平均単価は、震災前は千葉県産や栃木県産と同水準で推移していたものの、震災後は低い水準となった。令和元年以降は、千葉県産や栃木県産と同水準からやや低い水準で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

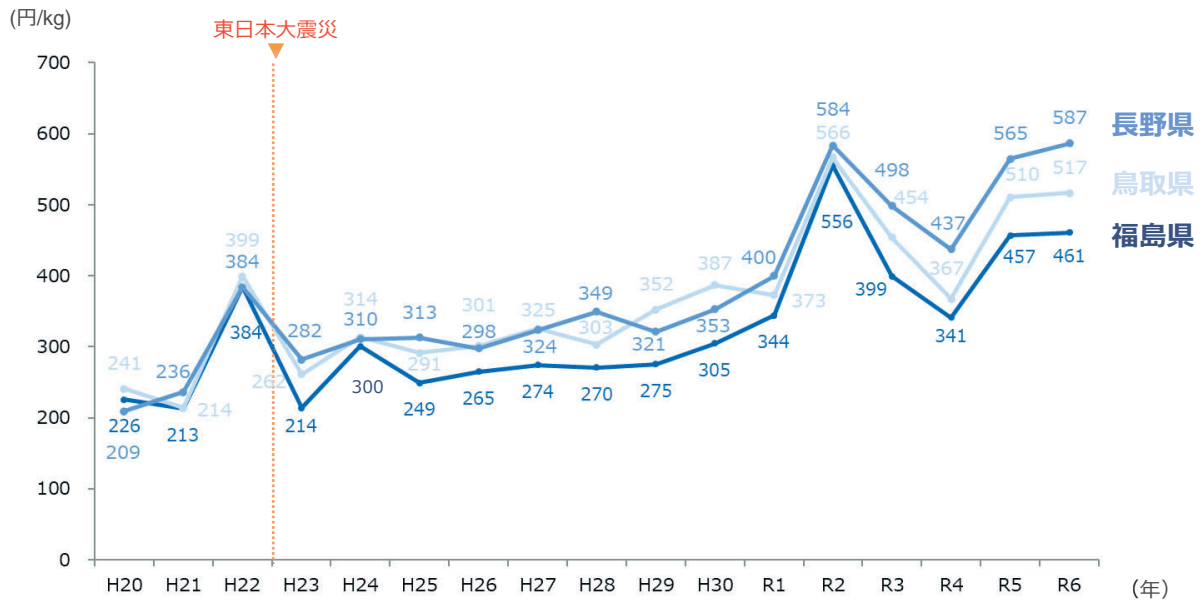


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

大阪市中央卸売市場における9月の福島県産梨の平均単価は、震災以前は鳥取県産や長野県産と同水準であったが、震災後、両県を下回るようになった。令和2年はその差が縮小したが、令和3年以降は再び差が拡大傾向にある。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)



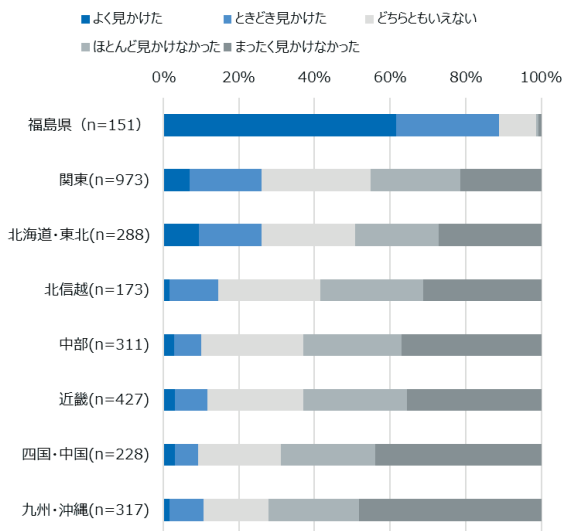
データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

571

福島県産梨を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

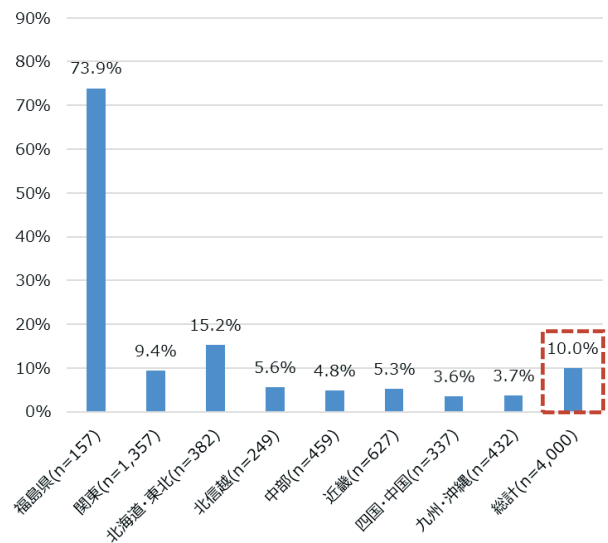
福島県産梨を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産梨を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では10.0%であった。

福島県産梨を店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産梨の購入経験率



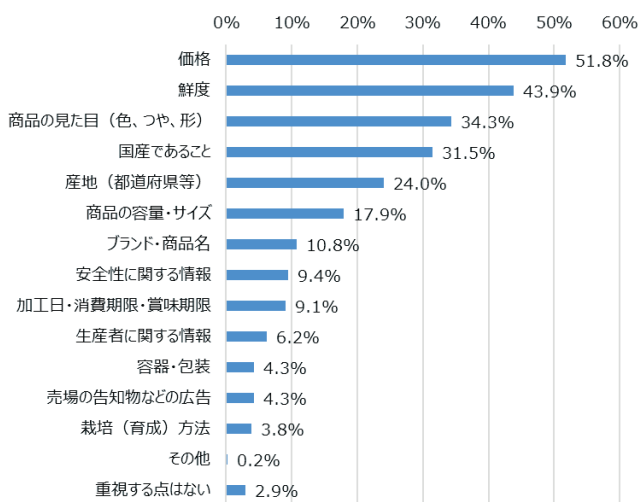
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。

572

梨購入時の重視点と福島県産梨の購入者の評価（消費者アンケート）

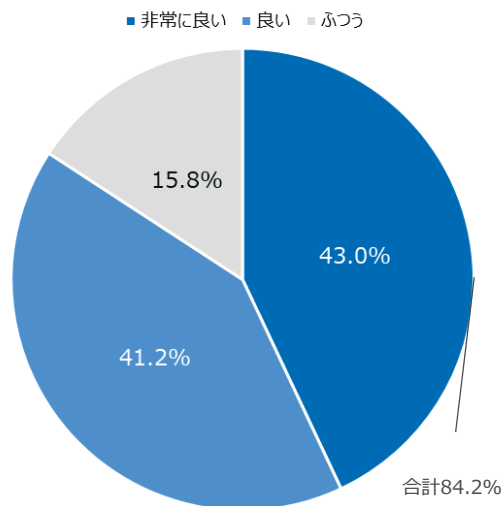
福島県産に限らず梨購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産梨の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が84.2%であった。

梨購入時の重視点（n=2,463、複数回答）



※梨購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
 ※月に1回以上梨を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産梨の購入者の評価（n=398）

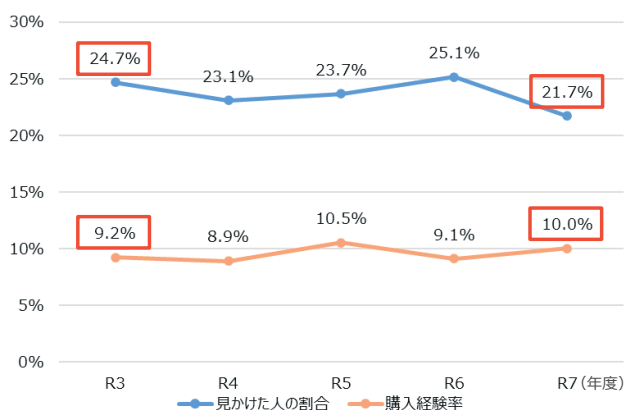


※福島県産梨を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※「悪い」「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

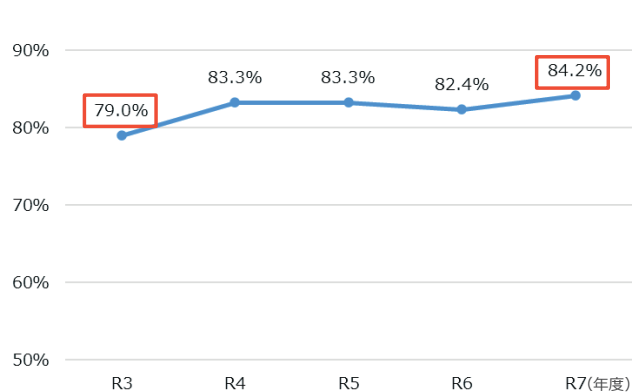
福島県産梨を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産梨を店頭で見かけた人の割合は3.0%下降、購入経験率は0.8%上昇した。福島県産梨の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は5.2%上昇した。

福島県産梨を見かけた人の割合、購入経験率



福島県産梨を高く評価している人の割合



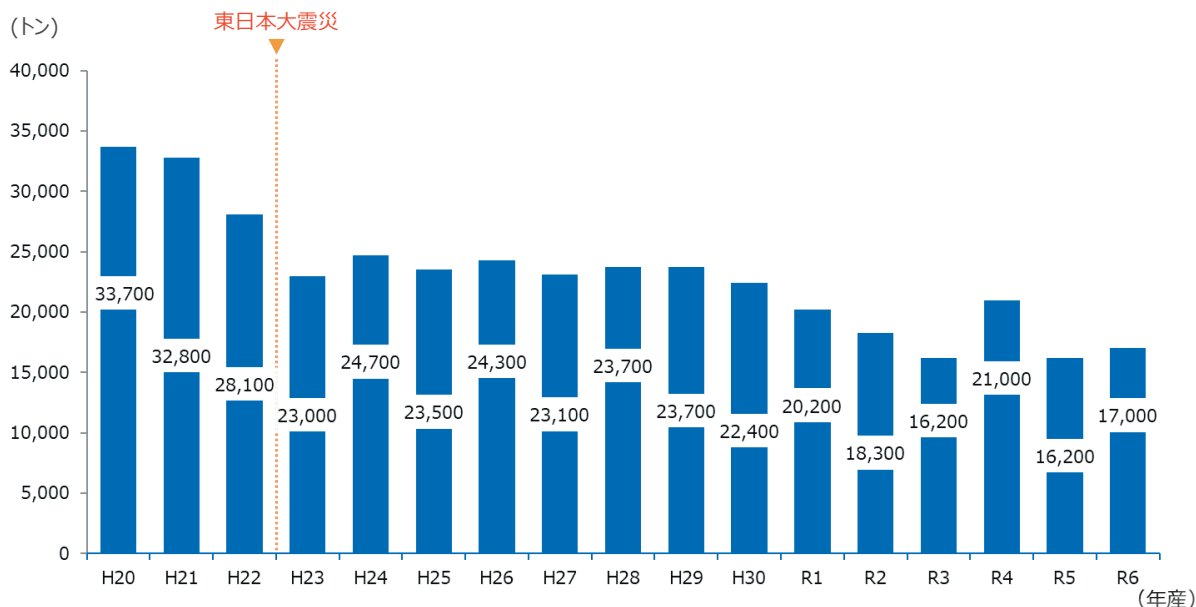
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,711、R4:3,569、R5:2,840、R6:2,587、R7:2,868。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産梨を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:1,008、R4:491、R5:418、R6:364、R7:398。

福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後に減少し、その後は概ね横ばいで推移していたが、平成30年産以降は減少傾向で令和3年産は凍霜害の影響もあり、特に少ない出荷量となった。令和4年産は一時的に回復したが、令和5年産以降は令和3年産と同程度で推移している。

福島県産りんごの出荷量の推移



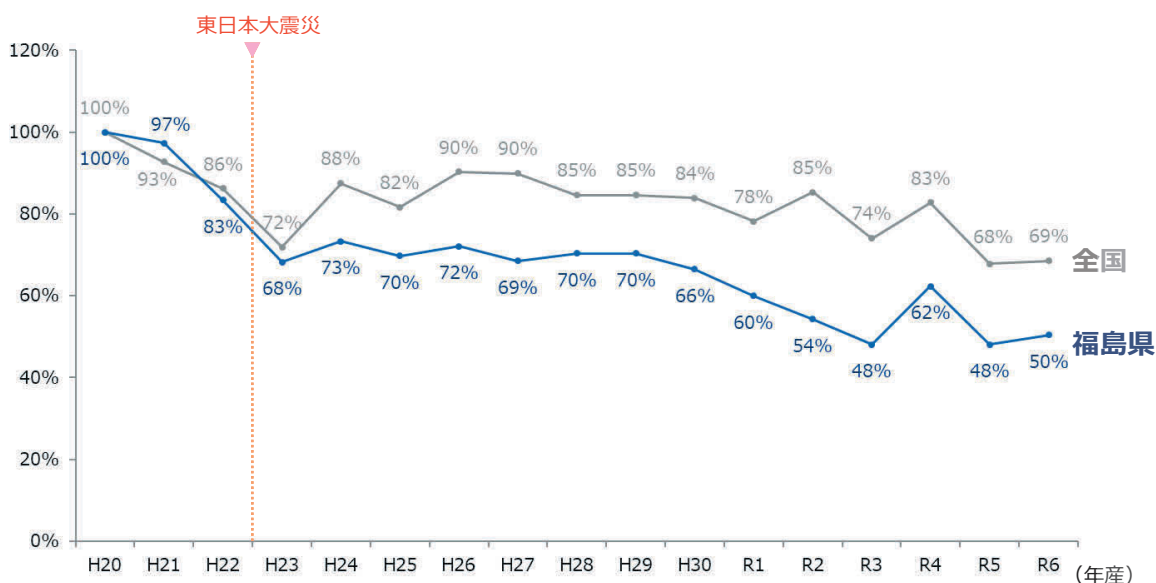
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

575

全国・福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産まで、全国のりんごと同様に減少していた。全国の出荷量が平成26年産以降横ばいもしくは微減で推移する一方で、福島県産は平成30年産以降、令和4年産・令和6年産を除いて減少傾向にある。

全国・福島県産りんごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



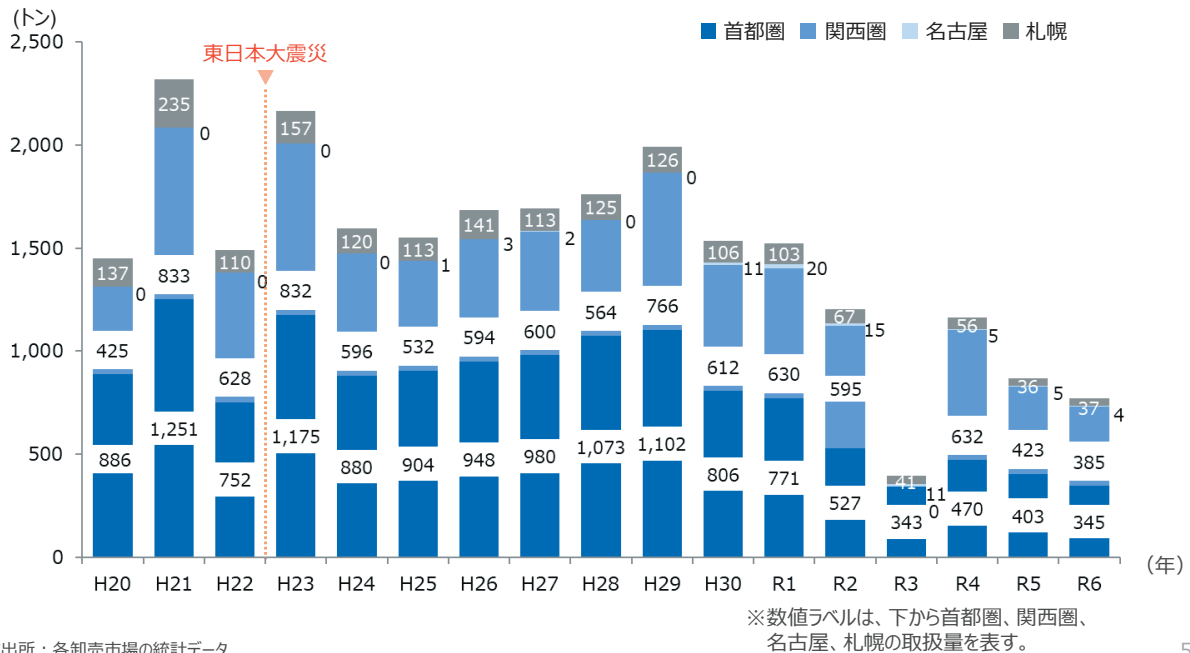
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

576

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産りんごは、主に首都圏、関西圏で取り扱われている。市場問わず、取扱量は、平成30年以降概ね減少傾向にある。

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるりんごの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、福島県産りんごは、青森県産のシェアがやや落ちる10月～12月に全体の1%～2%程度のシェアを占めていた。横浜市中心卸売市場では、9月・12月に1%のシェアを占めるものの、福島県産りんごの取扱いは僅かだった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	2%	331
青森	89%	96%	98%	99%	97%	98%	96%	51%	70%	59%	49%	58%	37,751
長野	2%	2%	1%	0%	0%	0%	1%	36%	14%	22%	19%	12%	4,603
山形	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	8%	7%	11%	20%	13%	3,179
岩手	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	6%	8%	13%	2,037
秋田	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	460
総量	4,554	5,153	4,941	3,880	2,851	2,213	1,766	2,248	4,408	5,919	5,767	4,854	
横浜市中心卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	14
青森	52%	90%	98%	100%	98%	94%	95%	72%	63%	55%	45%	42%	4,097
秋田	34%	6%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	19%	18%	25%	712
岩手	12%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	14%	7%	15%	17%	447
山形	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	13%	12%	17%	12%	401
長野	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	2%	7%	5%	3%	148
総量	551	515	497	471	367	306	238	222	479	786	790	640	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和6年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、11月・12月に福島県産りんごのシェアが全体の5%程度を占めていた。京都市中央卸売市場では、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	6%	385
青森	93%	100%	100%	100%	98%	98%	97%	54%	74%	61%	53%	56%	24,785	
長野	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	16%	28%	27%	20%	3,700	
岩手	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	8%	7%	8%	11%	1,165	
秋田	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	3%	6%	499	
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	4%	1%	222	
総量	2,398	2,920	3,258	2,605	2,136	1,782	1,419	1,582	2,681	3,581	3,263	3,302		

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
青森	75%	93%	99%	100%	97%	97%	97%	31%	68%	50%	51%	59%	4,048
長野	6%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	67%	25%	41%	36%	25%	868
岩手	13%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	6%	7%	9%	15%	315
秋田	5%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	3%	2%	2%	69
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	3%	2%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	16
総量	499	588	637	560	266	235	149	203	516	493	624	551	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 579

各市場におけるりんごの産地リレー(令和6年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、7月に福島県産りんごがシェア2位、12月にシェア3位であったが、取扱い量は僅かである。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4
青森	91%	99%	100%	100%	95%	94%	92%	16%	53%	45%	35%	44%	7,620
長野	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	81%	45%	51%	58%	41%	3,089
岩手	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	3%	6%	10%	277
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	5%	6%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	83
秋田	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	52
総量	886	1,238	1,087	1,020	606	373	219	591	1,189	1,557	1,326	1,083	

札幌市中央卸売市場

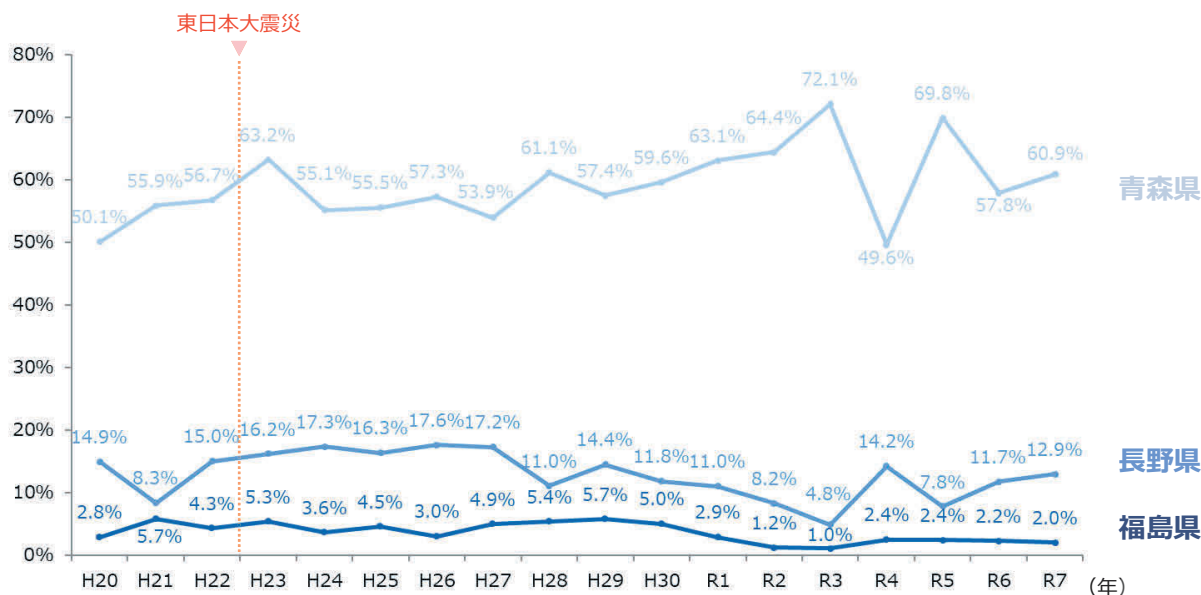
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	2%	10%	37
青森	71%	81%	93%	100%	100%	100%	98%	86%	55%	21%	40%	60%	2,576
北海道	27%	18%	7%	0%	0%	0%	0%	12%	43%	77%	53%	20%	1,012
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	0%	3%	2%	26
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	3%	25
秋田	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	16
総量	300	332	359	324	294	209	136	173	427	532	336	280	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における12月の福島県産りんごのシェアは、平成21年～平成30年まで5%程度を維持していたが、近年は縮小傾向にある。

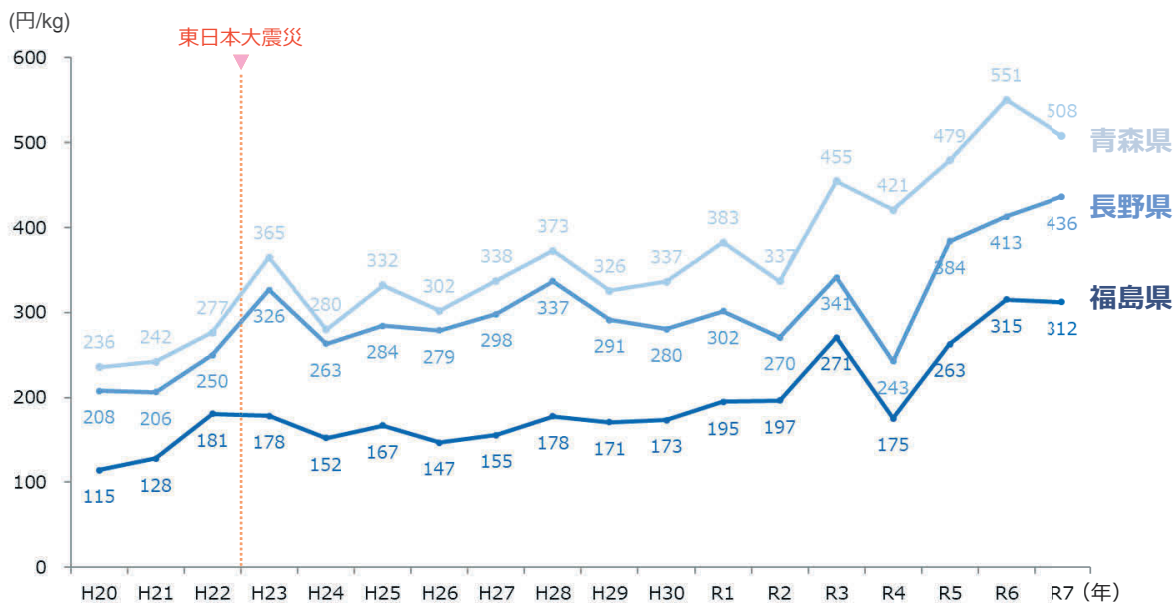
東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(12月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における12月の福島県産りんごの平均単価は、平成28年から上昇傾向にあったが、令和7年は令和6年よりやや下がった。青森県産や長野県産との価格差は震災前より拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(12月)

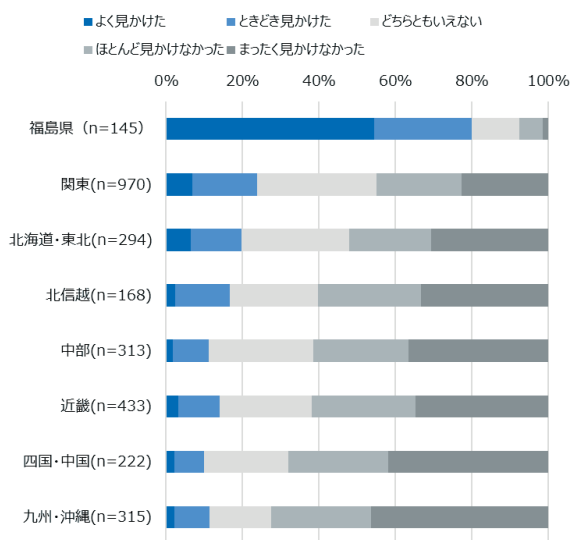


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産りんごを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

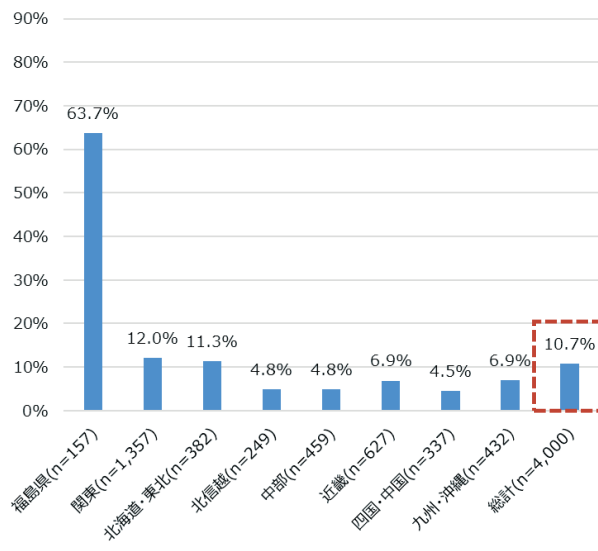
福島県産りんごを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産りんごを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では10.7%であった。

福島県産りんごを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産りんごの購入経験率



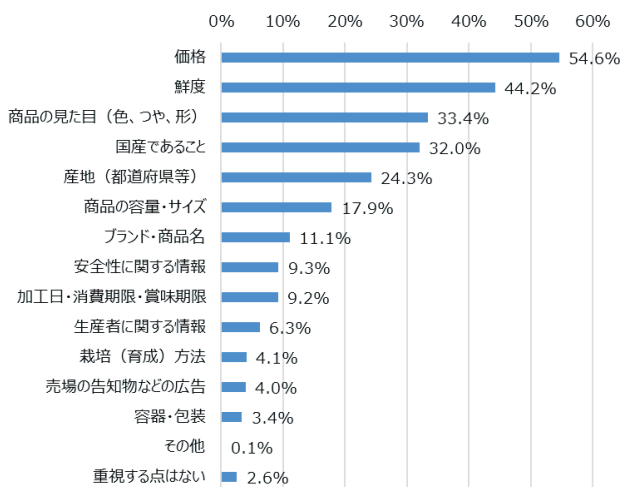
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

583

りんご購入時の重視点と福島県産りんごの購入者の評価（消費者アンケート）

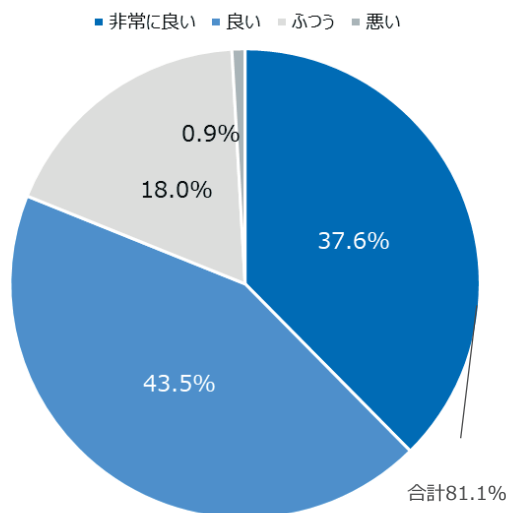
福島県産に限らずりんご購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産りんごの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.1%であった。

りんご購入時の重視点 (n=3,017、複数回答)



※りんご購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上りんごを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんごの購入者の評価 (n=428)



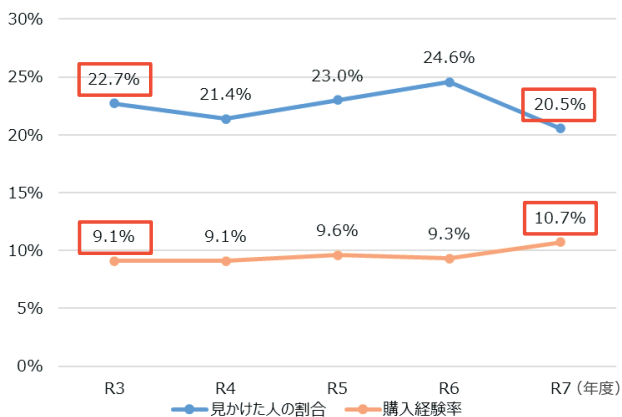
※福島県産りんごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

584

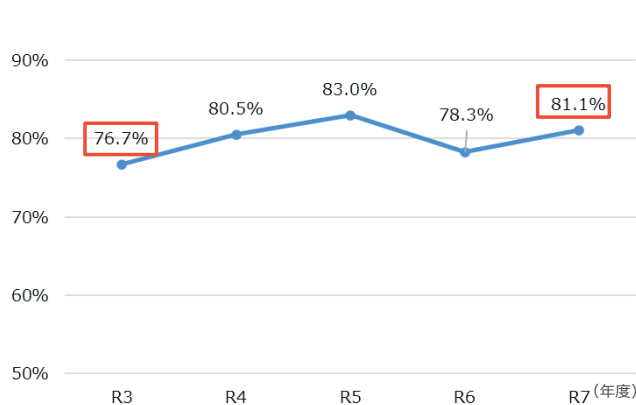
福島県産りんごを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産りんごを店頭で見かけた人の割合は2.2%下降、購入経験率は1.6%上昇した。福島県産りんごの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.4%上昇した。

福島県産りんごを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産りんごを高く評価している人の割合



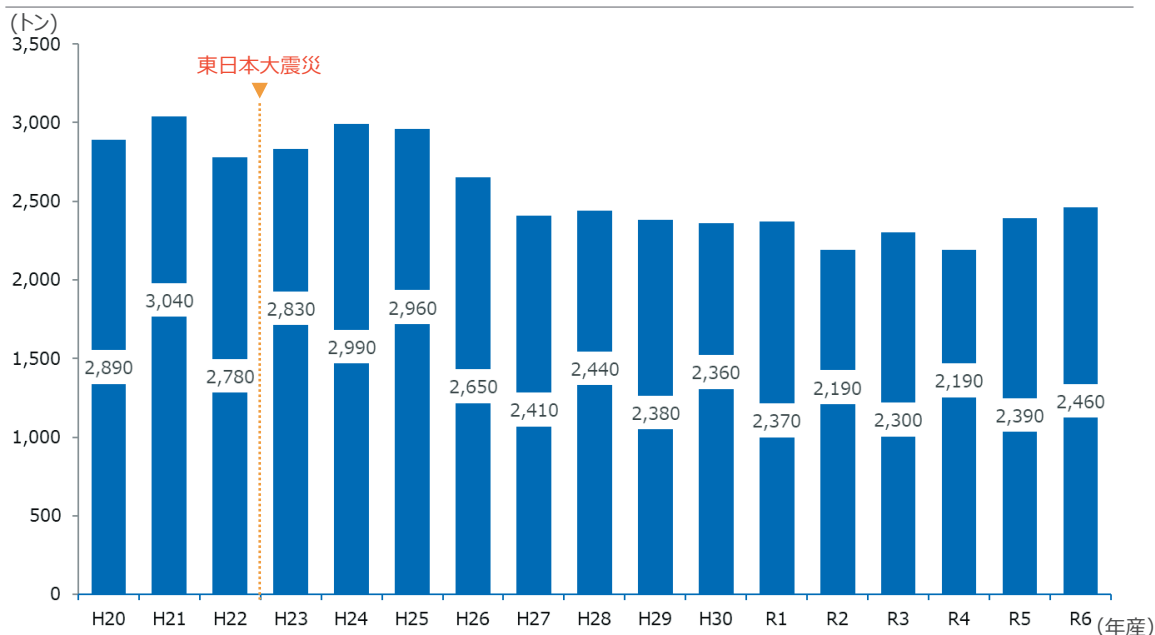
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,774、R4:3,579、R5:2,877、R6:2,601、R7:2,860。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っただけは購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産りんごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:1,005、R4:498、R5:383、R6:373、R7:428。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産から減少した後、近年は概ね横ばいで推移している。令和6年産の出荷量は約2,460トンとやや増加した。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

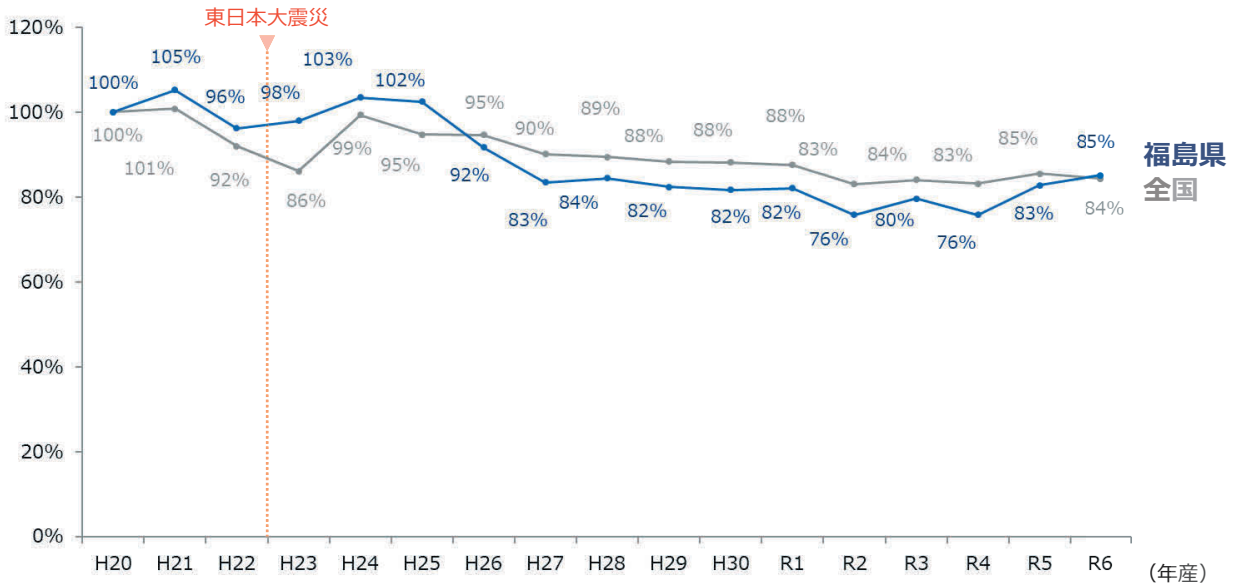


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移

全国のぶどうの出荷量は、平成24年産に増加して以降は減少傾向にある。福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産・平成27年産で大幅に減少した後、横ばいで推移していたが、令和5年産から回復傾向にあり、令和6年産は全国の水準を僅かに上回った。

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

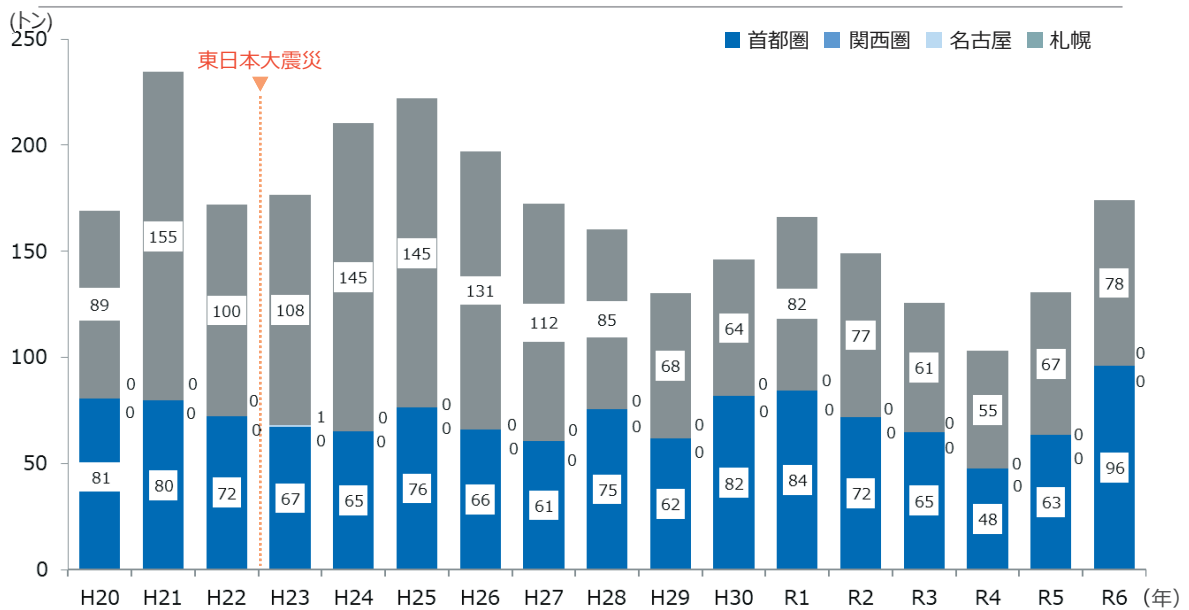


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ぶどうは、首都圏や札幌に多く出荷されている。取扱量は増減を繰り返しているが、令和4年から令和6年にかけては、首都圏・札幌における取扱量が増加している。

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるぶどうの産地別（令和6年産・首都圏）

福島県産ぶどうの取扱いは、東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場ともに年間を通して僅かであった。

各市場における産地別（令和6年産）

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	83
山梨	2%	0%	0%	2%	23%	18%	31%	67%	62%	30%	6%	2%	6,857
長野	47%	3%	0%	1%	7%	3%	6%	10%	24%	50%	75%	72%	4,343
山形	2%	0%	0%	0%	0%	7%	42%	15%	4%	5%	6%	5%	1,561
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	5%	7%	5%	8%	12%	3%	1%	1,101
チリ	3%	39%	94%	80%	32%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	335
総量	137	79	177	84	132	484	1,288	3,393	4,950	3,155	936	506	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	1%	2%	13
山梨	0%	0%	0%	0%	4%	13%	28%	74%	71%	38%	3%	0%	697
長野	28%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	5%	19%	48%	76%	61%	353
山形	0%	0%	0%	0%	0%	2%	45%	14%	1%	0%	0%	0%	111
他外国	33%	66%	65%	70%	81%	20%	1%	0%	0%	0%	0%	5%	89
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	5%	8%	10%	2%	1%	88
総量	14	20	25	24	25	62	135	327	423	284	107	54	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 589

各市場におけるぶどうの産地別（令和6年産・関西圏）

福島県産ぶどうの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても見られなかった。

各市場における産地別（令和6年産）

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
チリ	15%	52%	92%	98%	88%	81%	56%	19%	0%	0%	0%	2%	853
アメリカ	24%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	89%	89%	88%	58%	454
ペルー	61%	48%	8%	1%	0%	0%	0%	2%	1%	1%	10%	40%	176
メキシコ	0%	0%	0%	0%	0%	11%	33%	28%	1%	0%	0%	0%	73
山梨	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	24%	3%	2%	0%	0%	26
総量	59	93	259	207	199	121	119	68	112	132	152	132	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	2%	20%	49%	26%	15%	1%	0%	97
岡山	0%	0%	6%	0%	0%	1%	6%	5%	58%	52%	10%	0%	95
チリ	21%	95%	92%	67%	77%	25%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	91
福岡	0%	0%	0%	0%	6%	33%	28%	23%	4%	0%	0%	0%	66
米国	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	9%	15%	73%	55%	36
総量	4	9	24	27	29	54	71	100	93	56	13	9	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 590

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産ぶどうの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、12月の福島県産ぶどうのシェアは3位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長野	42%	3%	0%	0%	4%	2%	5%	10%	45%	76%	80%	74%	1,094	
山梨	0%	0%	0%	0%	3%	9%	29%	59%	50%	21%	2%	0%	991	
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	38%	22%	2%	0%	0%	0%	249	
チリ	16%	67%	90%	73%	52%	15%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	150	
島根	0%	0%	0%	1%	29%	51%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	124	
総量	30	21	41	49	55	158	232	655	808	549	162	113		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	12%	1%	0%	0%	0%	0%	7%	3%	9%	12%	13%	20%	78	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	32%	38%	34%	22%	5%	224	
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	10%	23%	32%	39%	28%	0%	0%	212	
チリ	15%	27%	88%	98%	93%	34%	15%	1%	0%	0%	0%	0%	162	
長野	16%	10%	3%	0%	1%	1%	3%	9%	10%	15%	31%	25%	112	
青森	36%	40%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	19%	28%	62	
総量	18	15	45	51	48	34	50	145	255	175	80	63		

データ出所：各卸売市場の統計データ

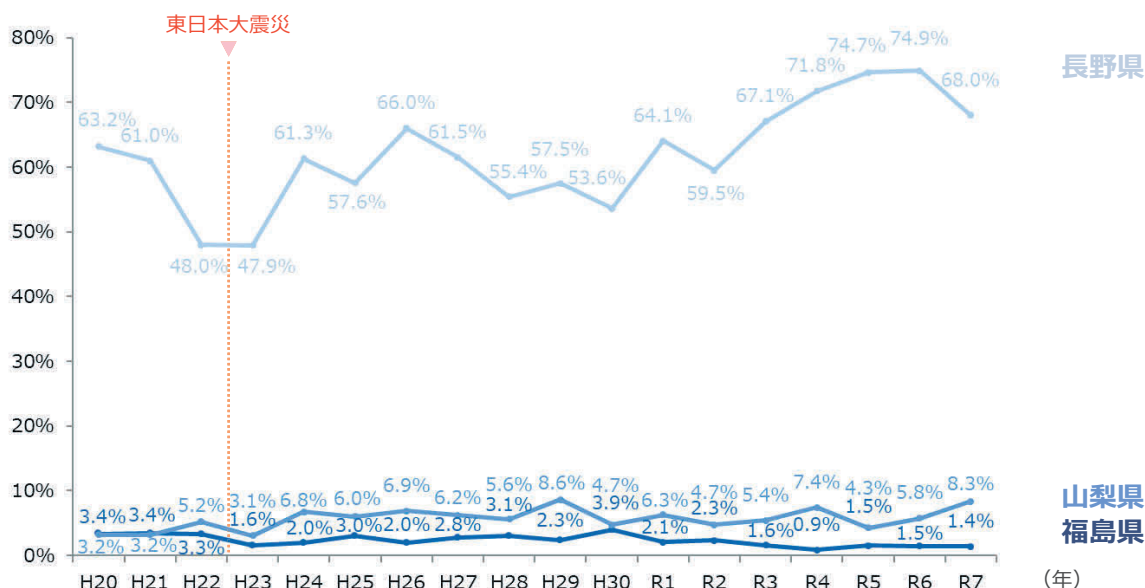
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

591

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうのシェアの推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ぶどうのシェアは、震災前は3%程度で推移していたが、震災後に減少し、以降は横ばいで推移している。震災以前から長野県が大きなシェアを占めており、令和7年は68%となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)



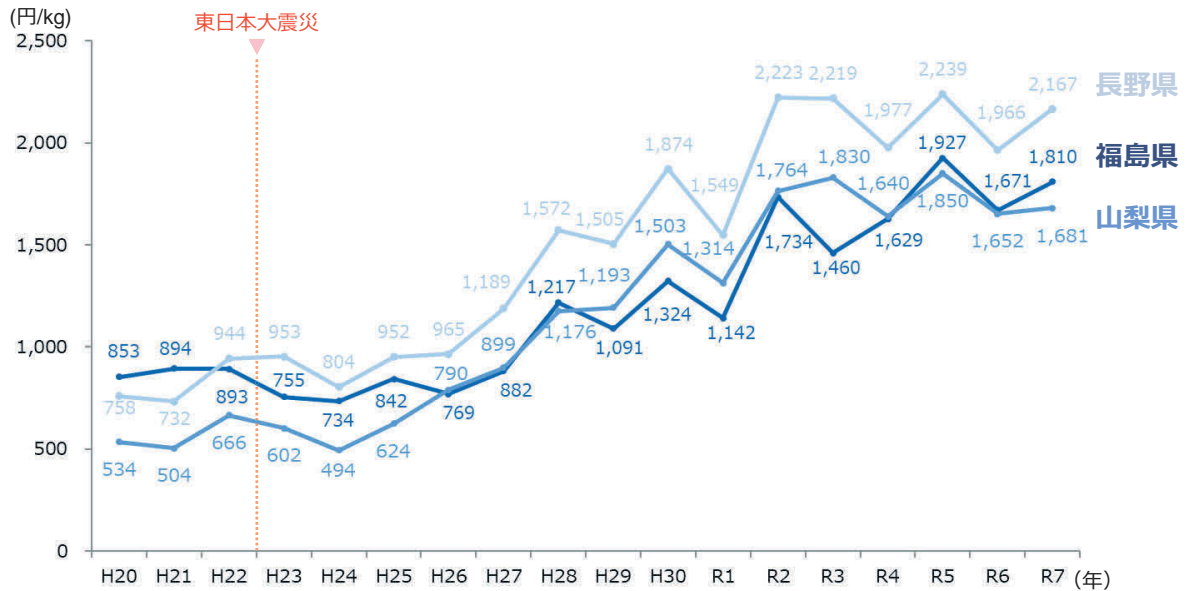
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

592

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうの単価の推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ぶどうの平均単価は、震災直後に微減したが、平成25年から増減を繰り返しつつ上昇し、平成28年以降は震災前の水準を超えている。近年は山梨県産と同程度の水準で推移し、長野県産の水準は下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)



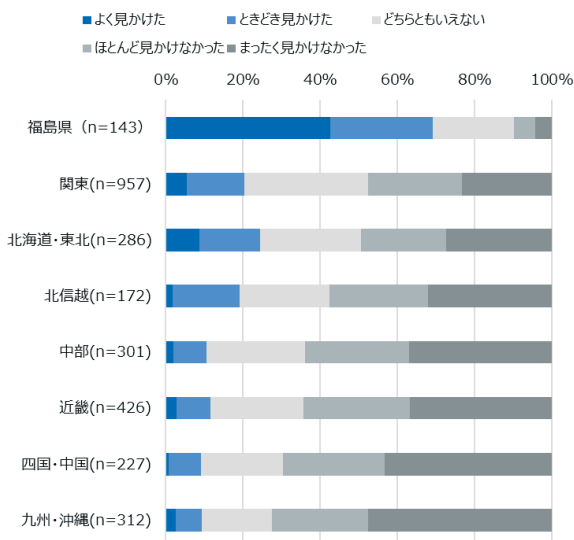
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

593

福島県産ぶどうを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

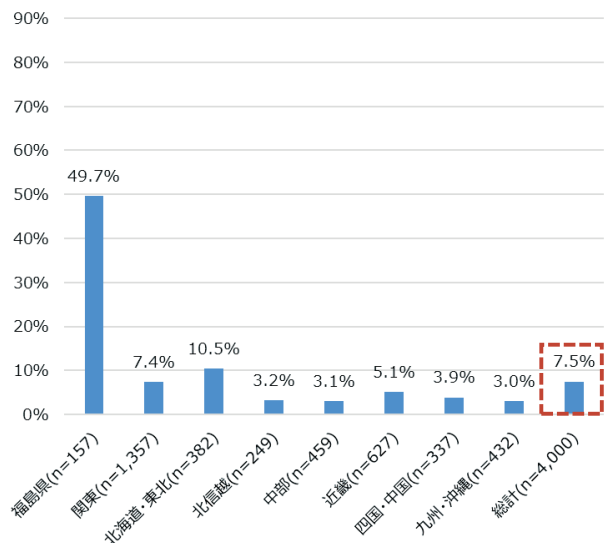
福島県産ぶどうを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ぶどうを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.5%であった。

福島県産ぶどうを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ぶどうの購入経験率



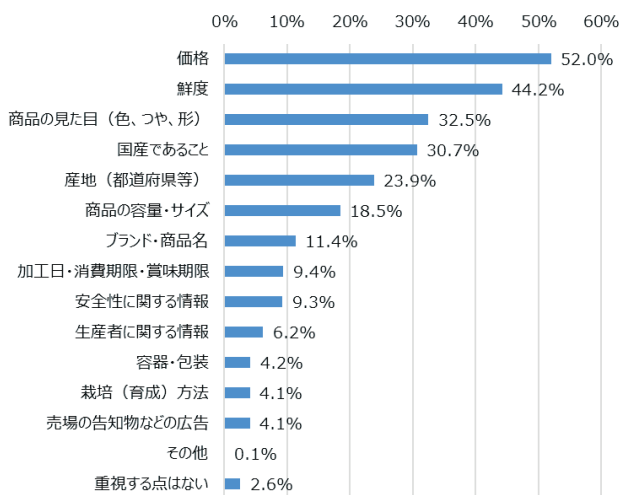
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

594

ぶどう購入時の重視点と福島県産ぶどうの購入者の評価（消費者アンケート）

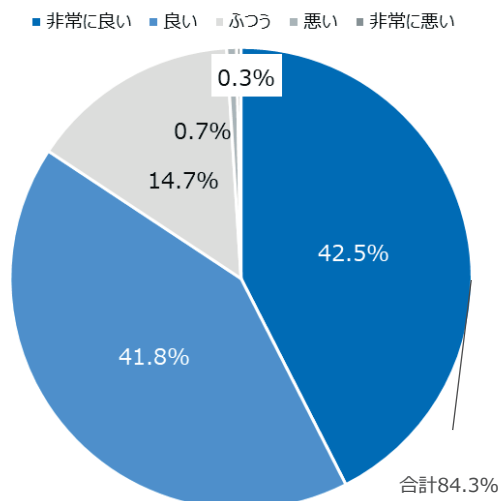
福島県産に限らずぶどう購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ぶどうの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が84.3%であった。

ぶどう購入時の重視点（n=2,394、複数回答）



※ぶどう購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ぶどうを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうの購入者の評価（n=299）

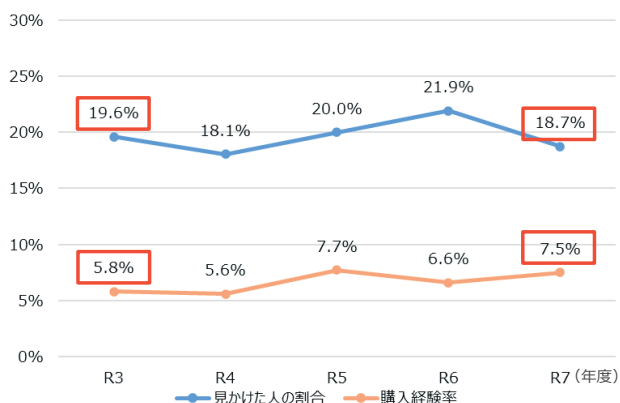


※福島県産ぶどうを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

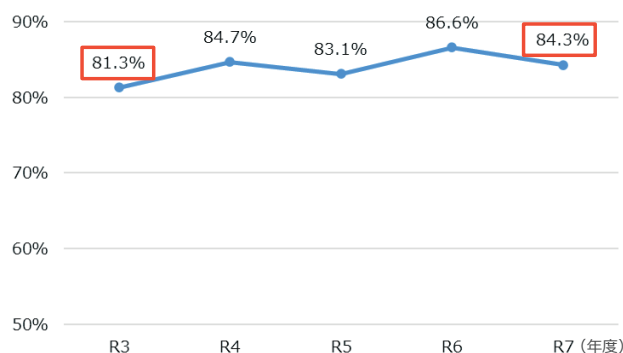
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産ぶどうを店頭で見かけた人の割合は0.9%下降、購入経験率は1.7%上昇した。福島県産ぶどうの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.0%上昇した。

福島県産ぶどうを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR3:7,551、R4:3,465、R5:2,809、R6:2,542、R7:2,824。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産ぶどうを高く評価している人の割合



※福島県産ぶどうを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR3:633、R4:307、R5:308、R6:262、R7:299。